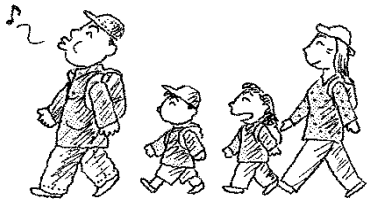
*Bokkedai－Walking・・・*



*近代水産業の発展に貢献した人びと*

*せきざわ あけきよ　　おだか としろう*

# 関澤明清と小高熹郎の足跡をたずねて

太平洋に突き出て東京湾口部にあたる房総半島南部は、豊かな海の幸に恵まれ、古くから漁業や海運の根拠地として発展してきました。明治時代、ウィーンやフィラデルフィアで開かれた万国博覧会に参加して欧米のすすんだ水産業を見聞した**関澤明清**は、殖産興業を標榜する日本にとって水産業振興策は欠かせない重要施策と考え、政府に提言するとともに、自ら館山に漁業基地を置き、米式捕鯨法を導入するなど近代捕鯨の基礎を築きました。また水産教育の必要性を説き、水産伝習所が開設されると初代所長となり、後進の指導にあたりました。水産伝習所は、水産講習所・東京水産大学・東京海洋大学を経て、今なお館山を実習場としています。

ときは流れて昭和になり、県議会議員・衆議院議員でもあった**小高熹郎**は、『里見節』『館山音頭』『南極観測隊の歌』などの作詞を手がける文化活動のかたわら、水産企業を興し、戦前には館山市館山漁協組合長や北洋漁業挺身団長、戦後には千葉県・日本旋網漁協組合長や全国漁連理事などを歴任しました。

ともに、館山を中心として近代水産業の発展に貢献した**関澤明清**と**小高熹郎**。館山で最初の公園に指定された「**北下台**（ﾎﾞｯｹﾀﾞｲ）」には、**関澤明清**の巨大な顕彰碑をはじめ、順天丸や坂東丸の遭難碑、鏡ヶ浦の標識航路であった正木燈など、ここが水産拠点であったという痕跡が多数残っています。一方、**小高熹郎**が自ら作詞した『里見節』は城山に、『鏡ヶ浦』は本蓮寺の墓所に、それぞれ碑が建立されているほか、生前、「**北下台**」ふもとの近代化遺産（大正期建造の旧古川銀行鴨川支店を昭和初期に移築）を活用し、'94～'97 年にわたり、地域の文化交流の振興を意図して「小高資料館」を開館させていました。

このたび、同建物を「**小高熹郎記念館～たてやま海辺のまちかど博物館**」としてリニューアル・オープンするのを期して、近代水産業の発展において館山の果たした役割を見つめなおすとともに、ゆかりの地をめぐるウォーキングと座談会をおこないます。

**◆ 日　時　　２００６年９月９日（土）　受付 ９：４５（安房博物館）**

**◆ 参加費**（資料地図代・保険料・博物館入館料含む）　**一般４００円、子供無料**　　※昼食は各自準備

**◆ スケジュール**

***第一部　10:00～12:00　北下台（ボッケダイ）ウォーキング***

**安房博物館～東京海洋大学実習場～北下台**（関澤明清の碑・順天丸と坂東丸遭難の碑・正木燈など）

**～小高熹郎記念館・たてやま海辺のまちかど博物館～安房博物館**（関澤明清関連資料展示）

***第二部　13:30～14:30　講　演　　於：安房博物館会議室***

**安斎　信人**　「近代水産業のパイオニア関澤明清と館山」

**平本紀久雄**　「小高熹郎と館山の水産業」

***第三部　14:45～16:00　座談会　　於：安房博物館会議室***

**愛沢　伸雄**（NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム理事長）

**天野　　努**（前安房博物館館長）

**安斎　信人**（千葉県教育委員会文化財課）

**平本紀久雄**（千葉の海と漁業を考える会代表、『私はイワシの予報官』著者）

**利渉　義宣**（元千葉県水産試験場長）

**司会／池田恵美子**（NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム事務局長）

*※水産講習所初代練習船「快鷹丸」の雄姿*

**◆ 主 催：ＮＰＯ法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム　◆ 共 催：たてやまコミュニティビジネス研究会**

**◆ 後 援：館山市、館山市教育委員会、館山地区公民館、館山地区コミュニティ委員会**

**◆ 協 力：千葉県立安房博物館、東京海洋大学館山ステーション、ＮＰＯ法人たてやま海辺の鑑定団**

**◆ 問合せ：0470-24-0224 / 090-6479-3498 / npo@internet-ex.com　（ＮＰＯフォーラム）**

*「小高熹郎記念館～たてやま海辺のまちかど博物館」オープニングイベント*

(060818)